

2009年
第1回動物愛護週間広報活動
活動報告書



内閣府特定NPO法人 ConoasS
ホームページ <http://www.conoass.or.jp>

【 .活動期間】

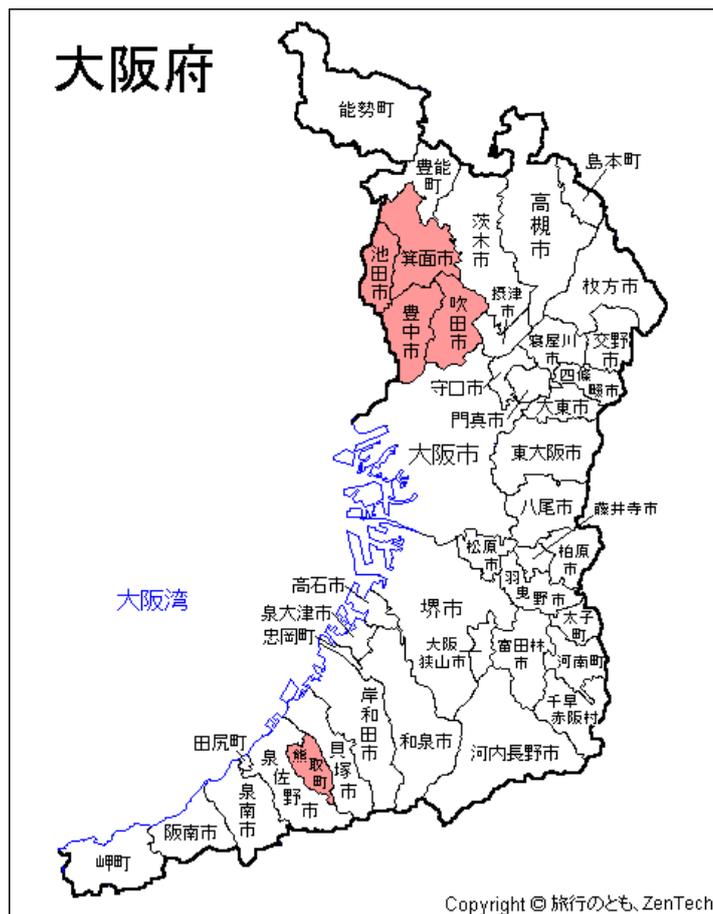
2009年9月20日(日)
～ 2009年9月26日(土)

【 .活動場所】

大阪府下

- ・池田市
- ・熊取町
- ・吹田市
- ・豊中市
- ・箕面市

(五十音順)



【 .活動目的・内容】

・活動目的は下記項目

- ・動物愛護週間の周知
- ・野良犬、野良猫の殺処分の現状の説明
- ・ペット飼育・動物愛護週間などに関するアンケート調査
- ・各世帯へのConoasSの周知

・活動内容は上記項目を説明する為に、各世帯への訪問

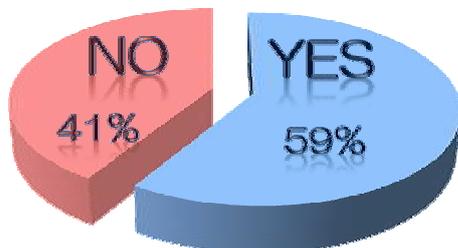
【 .活動報告】

・訪問世帯数 1,181世帯 ・資料配布枚数 約1,200枚

→アンケート調査の結果は次頁に掲載

アンケート調査の結果

Q1.動物愛護週間をご存知ですか？



動物愛護週間の認知率は半数を超えるものの、満足な結果とはいえず、加え今回のアンケートでは、「動物愛護週間をご存知ですか？」という問いである為、動物愛護週間という本来の意義の認知率となると、これより低くなると思われます。

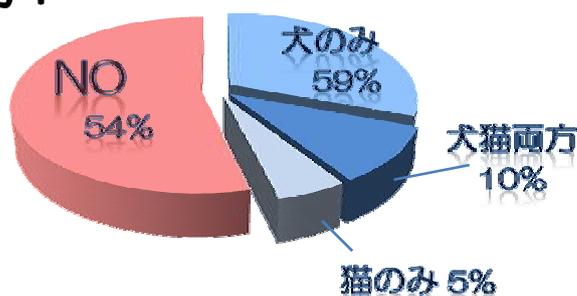
また犬猫どちらかを飼われている方の認知率は72%、犬猫どちらも飼われていない方の認知率は48%と、両者の認知率に開きが見られました。

Q2.犬か猫を飼われていますか？

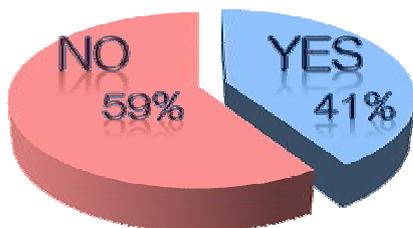
犬・猫を飼われているご家庭は半分近くに上ります。また、ほとんどのご家庭で、犬猫は伴侶動物として室内で飼われていました。

アンケートの中で、狂犬病ワクチン接種の有無、混合ワクチン接種の有無も調査しました。結果は次の通りです。

- ・狂犬病ワクチン接種率・・・100%
- ・犬混合ワクチン接種率・・・75%
- ・猫混合ワクチン接種率・・・66%



Q3.野良犬・猫の糞などで困っておられますか？



野良犬や野良猫の被害に困っておられる方は41%でした。この結果には、「飼い犬の散歩時の糞をそのままにしてある。」という被害や、「野良猫に畑を荒らされる。」という被害も含まれます。

飼い犬散歩時の糞尿の被害については、飼い主のマナーを向上することで解決に向かいます。

しかし、野良猫による糞尿及びその他の被害の解決は“野良猫の多さ”、“飼い猫の飼育環境”など様々原因が考えられます。

“飼い猫の飼育環境”に関しては完全室飼いすることを啓発していく事で、被害は多少減少すると考えられます。(猫を飼っている方に対し、「完全室内飼いですか？」という調査も行いましたが、結果はYesが83%でした。)

〔所感・展望〕

家族として愛される犬・猫がいる一方、犬・猫の被害に困っている方がおられるのも事実です。散歩時の糞の放置や飼い猫を放し飼いにしているなど飼い主に対するマナーの低さを指摘される声も多く聞かれました。

このような問題を解決することにより、犬猫など地域動物とのより良い共存社会が成立するのではないかと私たちは考えます。今現在、私たちConoasSIは、「犬猫殺処分数“0”(ゼロ)を目指して」をスローガンに掲げ、“野良犬・猫の避妊虚勢手術の徹底”に主眼を置き活動しておりますが、今後は犬猫の飼い主への飼育・飼養についての啓蒙活動も併せて活動していきたいと思っております。

また、野良犬・猫の糞尿等の被害を減らす方法として、安易に野良犬・猫を保健所に引き渡す方も少なくありません。私たちConoasSIは、“すべての生命を尊ぶ”という理念の元、活動しております。安易に犬猫を保健所に引き渡すことのないよう市民の皆様へ啓蒙していきたいと思っております。

今回アンケート調査を実施した世帯に関しては、狂犬病ワクチン接種率は非常に高く、国が目標とする接種率を大きく上回る結果となりました。来年度は、より広いエリアかつ多くの世帯に調査を実施したいと思っております。

以上